

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和元年度第3回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和元年11月12日（火）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター 会議室2
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫会長、藤井琢己委員、藤原悟委員、米田育子委員、清水賢一委員、肥田雅之委員、篠田善健委員、小林茂夫委員、大前道廣委員 計9名
欠席委員の氏名 又は人数	岸本信子委員、徳丸徹委員、高橋章子委員、吉川勝子委員
出席職員の職・氏名 又は人数	都市経営部長 筒井研策、まちづくり課長 池田正人、まちづくり課主査 山上公平、まちづくり課主査 和田裕行、まちづくり課職員 遠藤香里、まちづくり課職員 鳥田朱里 計6名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	なし
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) まちづくり活動審査部会審査報告について</li> <li>(2) 地域自治協議会ハンドブック及びパンフレットについて</li> </ol> </li> <li>4 協議等             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域自治一括交付金手引書について</li> </ol> </li> <li>5 意見交換             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 参画と協働に関する意見交換</li> </ol> </li> <li>6 その他（今後の予定等）             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4回まちづくり推進審議会</li> </ol> </li> </ol>
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> </ol>

<p>会 長</p>	<p>今年度第3回のまちづくり推進審議会となるがよろしく願います。京都橘大学が出されているニュースレターに西脇小学校の木造校舎保存のことが記事として取り上げられていた。地域の資源として、文化財として、価値があるものを活用していくことは大切なこと。学ぶ子どもたちにとっては誇りに思えることであるだろうし、多くの方に見に来てもらえる立派な地域資源だ。市民の皆さんの、地域の小学校を大切にしていこうという姿勢に感銘を受けた。本日も皆さんの貴重なご意見をいただきたく思う。</p>
<p>部会委員</p> <p>会 長</p>	<p><b>3 報告事項</b></p> <p><b>(1) まちづくり活動審査部会審査報告について</b></p> <p>10月16日に西脇市地区まちづくり実践補助事業1団体及び西脇市市民提案型まちづくり事業1団体の申請に係る審査を実施した。地区まちづくり実践補助事業については「よいとちがうか日野の里推進委員会」から桜保全事業の追加申請が出された。日野地区のシンボルである日野の里地蔵一本桜が弱っているため、定期的に樹木医に処置をお願いされ再生に努めてこられたが、これまで2年に一度程度であった剪定、消毒、施肥等について急ぎよ実施する必要性が生じたということで申請があったため、慎重に審議したうえで採択の意見を出させてもらった。市民提案型まちづくり事業については「認定NPO法人みなみ会」が「西脇の魅力伝えるふるさと新聞配布事業」と銘打った事業で申請が出された。これまでからみなみ会では広報紙「みなみ会だより」を通じて地域の「人」、「活動」などの様々なことを発信してこられたが、今回特集号を作成し、これまでNPO法人として蓄積してきた情報や活動のノウハウなどを広く発信し、市民の皆さんと共有したいという趣旨の内容であった。審査では他のタウン誌やミニコミ誌とどう違うのか、また公益性や必要性などについても質問があった。みなみ会においては当事業を活用し、これまで「西脇市まちづくりを応援する事業」を2回実施してきており、その中で広報紙「みなみ会だより」の発行を通じた情報発信をされてこられたため、同じ位置づけで3回目の当事業の活用と捉え、全員一致で採択の意見を出させてもらった。</p> <p>地区まちづくり実践補助事業及び市民提案型まちづくり事業の審査について双方とも事業内容や経費等について適正であるため採択の意見を出すということの報告をいただいた。どちらについても地域資源を生かして地域の活性化につなげ、ある種のシティプロモーションを進める内容で、公益性のある活動と思う。委員に報告いただいた内容で市長へ審議会の意見として提出させてもらった。</p>

会 長	<p><b>(2) 地域自治協議会ハンドブック及びパンフレットについて</b></p> <p>地域自治協議会ハンドブック及びパンフレットについては前回の審議会までに皆さんからいただいた意見をもとに私と事務局で整理し、修正させてもらった。今回の資料にある形でほぼ最終形となっている。そのあたりを含め事務局から修正箇所等の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>・事務局から資料2「地域自治協議会ハンドブック」及び「地域自治協議会パンフレット」の前回資料からの修正箇所等を説明</p>
事 務 局	<p>「地域自治協議会パンフレット」については全体を通して必要な情報はこの程度かと考えているが、説明がどうしても概略となるためデザイン性が重要と考えている。そのため、今後はデザインの専門家に相談することも含め、手に取ってもらえるようなものにしていければと考えている。</p>
事 務 局	<p>・あわせて事前に委員からいただいた地域自治協議会ハンドブックについての提案について資料「令和元年度第3回まちづくり推進審議会御質問等」に沿って説明</p>
会 長	<p>先ほども申し上げたが、これまで皆さんからいただいたご意見について全てを反映することは難しいが、できるだけ取り入れて修正をさせてもらった。本日の資料に対してご提案もいただいたが、気付くことなどがあればご意見をいただき、適宜修正していければと思う。また、事例についてはこの冊子を印刷する時期までに取組が進んでいることと思うので、その時点で最新の情報を載せられるように調整したい。この件に関し委員からご意見等があればお聞きする。</p> <p>◇委員からの意見等はなし</p>
会 長	<p>それでは、デザインや中の写真等は変えていく可能性はあるが、現在のものをベースに進めていくこととさせてもらい、適切な時期に発行できるようにしたいと思う。</p>
会 長	<p><b>4 協議等</b></p> <p><b>(1) 地域自治一括交付金手引書について</b></p> <p>地域自治一括交付金手引書についてはハンドブック等と同じく前回の審議会ですべての皆さんからいただいた意見をもとに修正させてもらった。こちらについてもほぼ最終の形になるかと思う。まずは事務局から修正箇所等の説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>・事務局から資料3「地域自治一括交付金の手引き」についての概要を説明</p> <p>・あわせて事前に委員からいただいた地域自治協議会ハンドブックについての質問の回答を「令和元年度第3回まちづくり推進審議会御質問等」に沿って説明</p>

<p>会 長</p>	<p>この手引書について、地域自治協議会ハンドブックとも共通する部分があるが、地域自治協議会は公共的、公益的な事業を実施する組織であるため、くどいようではあるがきっちりと記載しておくことが必要かと思う。対象事業や経費等については時代の変化に伴い変わっていくこともあるかと思う。例えば燃料費について電気自動車の電気代などはどう考えるかなど、現時点から変化していくこともあると思うので、その都度修正をしていくのが良いと思う。この手引書は広く一般に見てもらおうというよりは地域自治協議会の役員や事務局職員が資料として活用し、誤解のないように理解してもらい、事務手続きの参考にしてもらおうものとなる。本日の資料に対して説明を追加するご提案も事前にいただいたが、委員の皆さんからご意見があればお願いします。</p> <p>[委員からの地域自治一括交付金手引書に関する意見]</p>
<p>委 員</p>	<p>・ 6 ページの「(4)事業内容を変更する場合」の説明にある様式第 4 号を後の様式集で見たときに、様式には「補助事業等計画(変更・中止・廃止)承認申請書」と記載してあるが、6 ページの説明中にはそのように記載されていない。そのため様式集のものと同じように 6 ページの説明の表記を修正してはどうか。</p>
<p>事 務 局 委 員</p>	<p>・ 委員のご指摘のとおりであるので表記を修正する。</p> <p>・ 確認をする意味で聞くが、5 ページの「(2)地域自治一括交付金交付申請書等の提出等」の「ア 届出団体から市へ提出する書類」の項目中「事業計画書」について、他の様式には「補助事業等〇〇」のような言葉が前につくが、事業計画書にはつかなくてよいものなのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>・ 事業計画書については補助事業のみではなく、補助対象外の事業も含めた全事業の計画を記載してもらおうことも含め、西脇市補助金等交付規則で資料にあるように様式を規定している。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にご意見がないようなので、本日いただいた意見や事前のご提案を参考に修正し、手引書の作成を進めていきたいと思う。市はこの手引書の発行スケジュール等はどう考えておられるのか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>来年度の地域自治協議会ハンドブック等の発行時期に合わせて印刷し、配布するよう考えている。</p>
<p>会 長          委 員</p>	<p><b>5 意見交換</b></p> <p><b>(1) 参画と協働に関する意見交換</b></p> <p>委員の皆さんから地域のまちづくり協議会や地域自治協議会の事業の進捗状況、またまちづくりに関しての思いなど、どんなことでも構わないのでご意見やご感想をお聞きしたい。</p> <p>[委員からの意見等]</p> <p>・ 比延地区自治協議会では11月17日に住吉町の空き家の活用方法</p>

	<p>についてのプレゼンテーションを応募された多くの方のうち4名にしてもらい、優秀なアイデアをお持ちの方に使っていただくというコンペティションを行う。空き家の管理や活用方法は全国的にも大きな課題。様々な方法でにぎわいにつなげ、より良い課題解決の方策を見つけ出せればと考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比延地区自治協議会と兵庫県立大学の学生たちとでワークショップ等を重ね、比延地区の地域資源である中畑町のホテルについて、地元住民にとっても良い形で、より活用できるよう交通整理のことなども含めて考えながら取組を進めている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比延地区はまちづくりに関しての表彰を受けられたと聞いた。住民主体の活動が認められ、他の地域にとっても模範となるものであると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の外郭団体「あすの兵庫を創る生活運動協議会」より「あしたのまち・くらしづくり活動賞優秀賞」をいただいた。多くの方に比延地区の活動を知ってもらうことができ嬉しく思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市の商店街で店舗運営をされている「元町マルシェ」に行き、店内を拝見させてもらった。西脇市では生育途中で間引きして捨てるような農作物や、収穫されないほど木に実っている柿、田畑の畦道に自生している野草などが、都市部では値段がつけられており、しかも需要がありよく売れている。また、基本的に電車や徒歩での生活圏では、たくさん入って値段が安いというお得な商品よりも、割高でも少量で持ち運びが楽な商品の方が買われやすい。このように価値観の違いで売れるものも変わるものだと勉強になった。今後、都市部との交流の中で、都市部の方にも好まれる商品開発も進めていきたいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物の価値はところが違えばずいぶん違う。自分たちのなかでは当たり前のようなことでも、人にとっては違う価値を見出されるもの。交流や意見交換を大切にしたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田庄地区では事業計画に沿って様々な取組を進めているところだが、最近では11月17日に黒田庄駅舎に隣接する「西脇市黒田庄交流拠点施設あつまっ亭」で「あつまっ亭感謝祭」を開催する。黒田庄駅の利用者を増やしたいということもあるが、地域の交流がその場所で進めばと思っている。今年度は兵庫県立大学の学生たちもおもしろい催しを考えてくれている。今後のあつまっ亭の活用方法も考えているなかで、賑わいを生み出す場所になればと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月25日には黒田庄町役場跡地の「黒っこ広場」において「軽トラ市」を開催する。地域の団体や農協などと連携して例年開催しているもので、正月用品や食材、地元野菜などの販売に合</li> </ul>

	<p>わせ、おいしいものもたくさん出店される予定。皆さんもお時間が合えばぜひお越しいただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田庄地区の自然を知ってほしいということで、白山の登山マップを作製したが、実際登って見ると登山道が荒れている場所もあった。野外活動協議会とも連携し、我々が整備作業を行う予定にしている。黒田庄の素晴らしい自然環境を整え、多くの人に来てもらえる場所にしたいと思っている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田庄地区では民間の補助制度を活用し、福祉送迎車の車両の入れ替えも行われたと聞いた。様々な方面での新たな取組が進んでおり、勢いがあり素晴らしいことだと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日芳田地区では「芳田ふれあいまつり」を開催した。地域から多くの方に参加いただき盛況のうちに終わることができた。他のまちづくり事業も計画に従って進めることができている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度芳田地区では地区区長会をはじめ様々な団体、地域住民が参加し「法田の里“ゆめ”委員会」を立ち上げ、地区まちづくり計画「法田の里“ゆめ”プラン2015」の行動計画の策定に取り組んでいる。少子化、高齢者支援、安全・安心、交流・ふれあい、魅力づくりなどに関して短期、中長期で考えている。短期的な話では現在行っている活動を今後どう進めていくか、また中長期的な話では施設整備も含めたまちづくりを進めていく環境づくりに関することを考えている。それに合わせ市への要望事項なども地区区長会とともに検討を進めている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップを用い、参加型で進めているということはとてもよい進め方と思う。住民の参加は進み、盛んに意見は出し合っているか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの住民が参加のもと、まんべんなく様々な立場での意見が出されているかというところではない部分もあるが、自分たちの地域は自分たちで何とかしていきたいという気持ちは皆さんに芽生えてきている。その流れの中で今後の道筋をつけていければと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津万地区自治協議会の部会員として参画している。自治協議会の役員会ではいろんな化学反応が起き「自治活動」が行われていると実感する。地区区長会をはじめ多くの団体が参画し、また部会に分かれて多方面で取組を進めていく中で、連携がとり切れないことや、それぞれの立場で考えが一致しない場合も当然あるが、繰り返し議論し事業をこなしていくことでかみ合ってくるかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津万地区では現在新たな活動交流拠点として地区内の空き家の改修事業を進めているが、1月13日にオープンを迎える予定と</li> </ul>

	<p>なっている。一つにはこの事業がターニングポイントになると考えている。日程調整の段階からなかなか決まらず難しい状況であったが、イベントを行う中で交流が生まれ、反省をし、理解が広がっていくことと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>津万地区では全世帯に対するまちづくりアンケートを今年度から始めている。2,000世帯余りを対象に行い、145件の回答をもらった。津万地区住民の総意ということにはならないが、どのような地域課題があり、どう感じているのか、また地区がどうなっていけばよいかといったことを知り、問題意識を持つための重要なポイントかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>津万地区自治協議会のあつまれ部会は津子連(津万地区子ども会連絡協議会)と連携しながら「地区の子ども会」として機能することを目指している。我々が連携の先駆けとなり、団体同士の連携のモデルケースとなり、相乗効果や負担の減などの効果を生み出し見てもらうことで地域自治協議会と各自治会との連携につなげていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒田庄まちづくり協議会の活動を聞かせてもらい、食べることや遊ぶことなど、やはり楽しいこと、または楽しむことというイメージを持った。「まちづくりは楽しい」というイメージづくりは大切なことと思う。当然裏方さんの苦労は伴うが、そこにも楽しみを見出し、仲間づくりにつなげ、生きがいになれば続いていくのかと思う。最終的には全てまちづくりであるが、その仕掛けとして「楽しさ」「うれしさ」を根本にとイメージすることができれば自ずと取組も進んでいくのではと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>前進するためには基本的に「楽しいまちづくり」でなければと思う。そのためには裏方として苦労をする人がいて、その方も苦労を楽しみに変えて進める。そういういい意味での苦労でなければ活動も続かないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>西脇地区のまちなかを散策することがあるが、最近空き店舗を利用して催しをされているのを何度か見させてもらった。どこが主催されているのか分からないが良い取組が進んでいるなど感じた。昔の西脇市の中心街で風情もあり、何か活用できないかと思っていたので、今の活動をきっかけにいい流れが生まれればと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の活動はそれぞれが資源を生かして特徴のある取組を進められ、この流れで進んでいくことを楽しみにしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治協議会ハンドブック、パンフレットは、初めの頃のものとは見比べたりするが、ずいぶん良いものが出たと思う。見やすく分かりやすいものになり、工夫してもらった成果が出て</li> </ul>

<p>委員</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>いると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に市民提案型まちづくり事業補助金を活用させてもらって事業を実施し、現在も活動を続けている。初期の活動を進めていく中で補助金を活用させてもらえたことは本当に助かり、徐々に活動の範囲を広げ、今ではいろいろとまちづくりのお手伝いをさせてもらえるようになってきた。市民提案型まちづくり事業のような補助制度は、何かを始めたいと考える方にとって大きなきっかけになり、その動きがつながり、連携を生み出し、大きな成果になっていくように思う。</li> <li>・委員のご意見のとおり、市民提案型まちづくり事業のような補助制度はとても重要な役割を担っており、また効果も大きい。実際に活用された方の貴重なご意見であり、参考になる。</li> <li>・市民提案型まちづくり事業を活用していただき、多様な取組を市民主体で進めていただけることは「参画と協働のまちづくり」の大きな推進力となる。これまで多くの団体にご活用いただいたが、ここ数年は事業を利用される団体が少なくなっている。委員の皆さんが知っておられる活動など、情報があれば事務局に提供いただきたく思う。</li> <li>・津万地区でも比延地区、黒田庄地区に続き津万地区自治協議会が設立され活動も数か月進んできた中で、全体としては動きが少し見えにくくなったのではないかと感じている。活き生きTUMA協議会の活動はこじんまりとしていたこともあり事業も分かりやすかったように思え、改めて「参画と協働のまちづくり」の難しさを感じている。ただそれは、地域自治協議会になってから部会の数が増え、活動の幅や規模も大きくなり、参画する方も多くなったことによるもので、事実として、より充実した活動が進んでいる。</li> </ul>
	<p><b>4 その他</b></p> <p><b>今後の予定について</b></p> <p>(1) 第4回審議会の日程について</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>